

令和4年度安全衛生管理活動計画書

注)FAXを送る場合、東部の事業場は0857-24-3213、中部は0858-22-6275、西部は0859-34-2233へ送信ください。

鳥取 労働基準監督署長 殿

事業場の名称 所在地 電話番号	株式会社鳥取労基製作所 鳥取市富安2丁目89-9 電話番号 0857-29-1704			在籍労働者数	男 30人 女 41人 計 71人 (うち、外国人 5人)
送信・送付担当者の部署名	総務部総務課			派遣労働者数	20人
				構内下請労働者数	15人
事業の種類	金属加工機械製造業				
総括安全衛生管理者	選任の有無 届出の有無	有 有	無 無	産業医	選任の有無 届出の有無
安全管理者	選任の有無 届出の有無	有 有	無 無	衛生管理者	選任の有無 届出の有無
安全衛生推進者	選任の有無 選任者氏名の周知	有 有	無 無	衛生推進者	選任の有無 選任者氏名の周知
労働災害の発生状況	年別 区分	令和2年 被災者数		令和3年 被災者数	
	休業4日以上	0人 (うち死亡 0人)		1人 (うち死亡 0人)	
	休業4日未満	1人		0人	
令和3年の災害発生後の対応 (主な内容を列記)	(同種災害防止のために行った対応等(指示事項、作業手順変更、設備改善など)) 労働災害が発生した機械を調査し、危険箇所にカバーを設置した。全社的に作業標準を見直し、安全対策を考慮したものに改正した。創立記念日の式典に併せて安全大会を開催した。職場の潜在的な危険・有害要因を無くするため、工場長がリスクアセスメントを導入することを決定し、全従業員に周知した上で、各部署の担当者に対して教育を実施した後、各部署においてリスクアセスメントを実施した。				
職場におけるリスク要因	(職場で災害が発生している場所、災害発生の危険がある場所・作業など) 金属加工作業(機械による加工中、清掃中)、機械の組立作業、塗装作業(化学物質の蒸気)、研磨作業(粉じんの飛散)、溶接作業(アーク光、溶接煙)				
無災害記録について	昭和・平成 令和3年9月から無災害を継続中である。				
令和3年の一般健康診断実施状況	受診者数(A)	有所見者数(B)	有所見者率 B/A×100	有所見者に関する 医師等からの意見 聴取	実施 している
	71人	30人	42.3(%)		実施 していない
ストレスチェックの実施状況	労働者を常時50人以上使用する事業場では、少なくとも1年に1回ストレスチェックを行う必要があります。		検査を受けた労働者数	面接指導を受けた労働者数	集団分析の実施状況
			71人	3人	実施・未実施 (集団分析は努力義務です)
労働者の仕事上の不安等の相談先	仕事上の不安、ストレス等の相談先・相談部署等 有(相談先:産業医、厚生係) 無				
令和3年度安全衛生管理活動計画の実施結果 (独自の取組内容等)	(達成できた事項・未達成となった事項とその問題点・次年度計画に盛り込むべき事項等) ○工場長のリスクアセスメント導入の表明、全従業員への周知、教育を行い、各部署で実施した。 ○メンタルヘルス対策として、セルフケアのための「ストレスチェックリスト」の配布、管理監督者に対する教育を行った。 ○チェックシートを活用して、安全衛生委員会委員、安全衛生担当者による安全衛生パトロールを実施し、通路確保、積荷の改善等職場の整理整頓と局所排気装置の大幅改善を実施した。				
令和4年度の安全衛生目標	(経営トップの安全衛生方針、この方針を受けた実施目標、改善を行うべき事項等) 方針:労働災害の発生を防ぐ、心の問題を抱える従業員を出さない。 ○安全衛生管理体制の充実 ○作業標準の見直し ○リスクアセスメントの継続の実施 ○「心の健康づくり計画」の見直し ○セルフケア、ラインによるケアの促進 ○ストレスチェックの実施 ○有所見者の所見内容の改善 ○安全衛生教育の実施				
エイジフレンドリーガイドラインに基づく取組状況について	高年齢労働者の就労に当たり職場環境の改善ほかの対応を行った 是・いいえ [改善や対応を行った事項] ○通路の暗い箇所に照明を設置 ○床、通路にあった段差の解消 ○床、通路を防滑素材へ変更 ○体力チェックを行い、自らの状態の把握を行った ○身体機能を向上させるため、体操、ウォーキングの実施を促進				
令和4年度に実施予定の安全衛生教育	○新規採用者への安全衛生教育 ○配置転換者への業務研修 ○有害業務従事者への能力向上のための教育				

通知文裏面の 2「総括安全衛生管理者」等欄 をお読みの上、記載ください。
鳥取労働局ホームページには安全衛生に関する各種情報を掲載しています。https://jsite.mhlw.go.jp/tottori-roudoukyoku/
鳥取労働局では『安全「見える化」とっとり運動』を展開中です。

有害業務、設置機械の点検（業務がある、できている場合は[○]、業務がない、対応の必要がない場合は[-]、できていない場合は[×]を記入してください。）

有害業務	有機溶剤取扱業務[○]	→	排気装置点検[○]	環境測定[○]	健診[○]	保護具[○]	主任者選任[○]	教育[○]
	特定化学物質取扱業務[○]	→	排気装置点検[○]	環境測定[○]	健診[○]	保護具[○]	主任者選任[○]	教育[○]
	粉じん作業[○]	→	排気装置点検[○]	環境測定[○]	健診[○]	保護具[○]	点検者選任[○]	教育[○]
	情報機器作業[○]	→	照明・騒音等作業環境管理[×]	作業時間管理[○]	健診[○]	教育[○]		
	重量物取扱作業[○]	→	機械化[×]	作業姿勢の改善[○]	作業手順の改善[○]	健診[○]	腰痛予防体操[×]	教育[○]
設置機械	食料品加工機械[-]・木材加工機械[-]・金属加工機械[○]	→	安全措置[○]	作業手順書[○]	点検[○]	教育[○]		
	フォークリフト[○]	→	作業計画[○]	特定自主検査[○]	定期点検[○]	資格[○]	教育[○]	
	クレーン[○]	→	安全装置[○]	年次点検[○]	月次・使用前点検[○]	資格[○]	教育[○]	
	移動式クレーン[○]	→	作業計画[○]	安全装置[○]	年次点検[○]	月次・使用前点検[○]	資格[○]	教育[○]
	はしご・脚立[○]	→	滑動防止[○]	墜落対策[○]	使用時点検[○]	保護帽(墜落用)[○]	教育[○]	
	アーク溶接装置[○]	→	換気装置[-]	設備点検[○]	保護具[○]	個人ばく露測定[×]	健診[○]	教育[○]

安全衛生活動計画

項目 月	活 動 項 目
令和4年 4 月	安全の日(毎月1日)、安全衛生委員会（安全委員会、衛生委員会）（毎月20日） 本年度の安全衛生方針の表明と安全衛生活動計画の決定 安全衛生委員会（毎月第1水曜日）-（事前パトロール実施（毎月）、産業医による現場巡視） 各種機械設備定期自主検査（毎月） 各種講習受講（随時） 新入社員教育 春の全国交通安全運動
5 月	リスクアセスメント等の検討（安全衛生委員会） ヒヤリハット事例の修習 健康促進のための体操・ウォーキングの取組促進 熱中症予防のため設備の確保や教育等対策を進める
6 月	全国安全週間準備期間 定期健康診断、特殊健康診断（有害業務従事者） ストレスチェック 健康促進のための体操・ウォーキングの取組促進 ヒヤリハット事例の検討・職場改善の実施 「ゼロ災55」無災害運動の標語募集 熱中症予防対策の推進（休憩場所の整備、熱への順化、健康状態の確認）
7 月	全国安全週間(1日～7日)、鳥取県産業安全衛生大会(7月1日(金)倉吉未来中心) 産業医による健康診断結果のチェック 作業場のリスクアセスメントの実施 夏の交通安全県民運動 熱中症予防対策の推進（熱への順化、水分・塩分の摂取、健康状態の確認）
8 月	作業環境測定（特定化学物質・粉じん） クレーン等定期自主検査・フォークリフト等特定自主検査 リフレッシュ休暇の取得促進 熱中症予防対策の推進（熱への順化、水分・塩分の摂取、健康状態の確認）
9 月	全国労働衛生週間準備期間 リスクアセスメント結果に基づく必要な措置の実施 秋の全国交通安全運動 熱中症予防対策の推進（熱への順化、水分・塩分の摂取、健康状態の確認） 粉じん障害防止総合対策推進強化月間（たい積粉じんの大掃除等） 健康促進のための体操・ウォーキングの取組促進
10 月	全国労働衛生週間(1日～7日) 全国産業安全衛生大会(10月19日(水)～21日(金)福岡県) 健康講話 健康促進のための体操・ウォーキングの取組促進 メンタル問題相談窓口の開設、長時間労働縮減対策の検討
11 月	「ゼロ災55」無災害運動(11月7日～12月31日の55日間) 経営幹部によるパトロール 安全「見える化」ととり運動強化月間、見える化による職場改善の促進 過労死等防止啓発月間、年次有給休暇の取得促進 ストレスチェック結果の集計・分析及びその結果を踏まえた職場環境の改善の検討
12 月	「ゼロ災55」無災害運動(11月7日～12月31日の55日間) 年末年始無災害運動（12月1日～ ） 安全大会の実施、無災害強調月間、安全パトロールの実施、職場点検の実施、年末の大掃除の実施 特殊健康診断（有害業務従事者）定期健康診断（特定業務従事者） 年末の交通安全県民運動 冬季の積雪・凍結による災害防止の準備（歩行通路の確保、防濡マットの配備、教育）
令和5年 1 月	年末年始無災害運動（ ～1月15日） KY活動による災害防止対策の推進 各作業における災害防止対策の再確認と励行 風邪に対する健康管理 積雪・凍結に対する転倒災害防止と安全運転の強調月間、積雪・凍結による事故防止のための注意掛け運動の実施
2 月	作業環境測定（特定化学物質・有機溶剤・粉じん） 降雪・積雪に対する転倒災害防止と安全運転の強調月間、積雪・凍結による事故防止のための注意掛け運動の実施
3 月	当年度安全衛生管理活動計画の実施状況の総括・評価と次年度安全衛生管理活動計画案の作成 作業手順書の順守確状況の確認・手順書の見直し